

エコールみよた  
**Clip Board**

**11月3日(月・祝)は  
縄文文化の日！  
博物館無料開放デーです。**

博物館を見て、縄文ビーズづくり、縄文弓矢の体験、縄文火おこし体験、その他縄文クラブなどを楽しんでください。

ご家族そろってお出掛けください。

日時 11月3日(月・祝)  
午前9時30分～午後4時40分  
場所 浅間縄文ミュージアム



5,000年前の御代田人が作った縄文土器

浅間縄文  
ミュージアム  
(32)8922

**ジュニアスキー  
クラブ員募集**

町体育協会スキー部は、ジュニアスキークラブの部員を募集します。  
皆さまの参加をお待ちしております。

**対象者**

小学2年生～中学生  
(保護者が町内に在住のこと)

**活動期間**

平成27年1月～3月

**活動時間**

午前8時30分～10時30分(予定)

**クラブ費**

7,000円  
(1人の場合。きょうだいで参加する場合、2人目以降は3,000円)  
※別途スキー場リフト券が必要になります。

**申込期間**

11月21日(金)～30日(日)

**説明会**

日時 11月14日(金)午後6時30分～  
場所 B&G海洋センター会議室

**申し込み・問い合わせ先**

B&G海洋センター (32) 6114

フレンドリー  
図書館  
(32)0800

**秋の読書週間が  
はじまります**



期間: 10月27日～11月9日  
標語: 「めくる めぐる 本の世界」

10月25日(土)から11月9日(日)まで、ひとり10冊まで貸出します。貸出利用された方には、先着順でしおりをプレゼントしますのでご利用ください。

**11月のおはなし会の予定**

ちいさいおともだちのおはなし会(幼児向け)  
11月6日(木)・20日(木) 午前10時30分～11時

おはなし会(幼児・小学校低学年向け)  
11月8日(土)・22日(土) 午前10時30分～11時

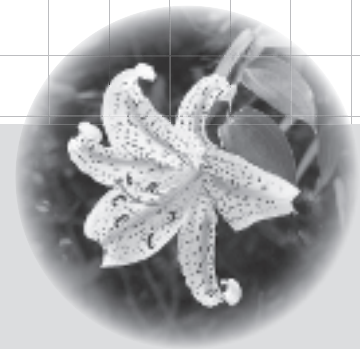
**昔がたりのおはなし会**

11月15日(土) 午前10時30分～11時

# やまゆり栽培講習会



やまゆりの会では「やまゆりの里づくり」を目指して、やまゆりの保護・育成を行っています。  
恒例のやまゆり栽培講習会を開催します。講習会では、やまゆりの鉢植えを作ります。  
皆さまのご家庭で大輪のやまゆりを咲かせていただき、毎年龍神まつりで行われている「やまゆり展示会」に、出展しませんか。皆さまふるってご参加ください。



日時 11月8日(土) 午後1時30分から  
場所 エコールみよた 縄文広場(博物館東側)※雨天の場合は役場庁舎下駐車場  
受付数 100セット(1人2セットまで)  
参加費 1セット 1,000円(鉢・養土・球根5球)※鉢持参の方は700円  
申込締切 11月4日(火) ※予定数になり次第締め切ります。

申し込み・問い合わせ先 産業経済課商工観光係 (内線31・62)

## はじめまして

### 絵本の世界

十月二十七日から読書週間が始まります。今年の標語は「めぐるめぐる本の世界」です。本の世界は、誰もが自由にいつでもどこでも旅することが出来ます。新たな本との出会い、ぜひ手に取ってページをめくってみましょう。

#### 『さみしかった本』

図書館にあって、多くの子どもたちに読まれた一冊の本がありました。何年もたつて古ぼけてきて、誰にも読まれなくなったころ、一人の女の子の目に留まりました。女の子は、その本を気に入って、とても大事に扱いました。しかし、図書館でイベントがあった日に、もう一度借りてくるのを忘れてしまいました。一方、本の方は、古びていたために地下室へしまわれてしまいました。  
誰にも借りられなくなった本でしたが、古くなった本がセールに出された日、その本を忘れなかった女の子と再会を果たすのです。



『さみしかった本』  
ケイト・バーンハイマー/文  
クリス・シーバン/絵  
岩崎書店

BOOK  
コーナー

## ほんとに、いい出会い。

一般書

今月のおすすめの

一冊!!

『松丸本舗主義』  
丸善丸の内本店の中に、二〇〇九年から二〇一二年まで開設されていた「松丸本舗」という書店の本です。

松丸本舗は、図書館のような分類によらない、実験的な本棚づくりをしたことで話題になり、多くのファンも生み出しました。

著者の松岡正剛さんはこの書店をプロデュースするより前に、「千夜千冊」というサイトの執筆をしたり、また、その書評を全八巻の大作にまとめて出版したり、非常に多くの本を涉猟されてきたことがうかがえます。

松丸本舗は、本の集め方、見出しのつけ方もユニークでしたが、本を横に置いたり、奥に入れたりする空間の使い方や、所々が違い棚になっていたなどの面白さがありました。それはさながら迷宮のようで、店内で迷いつつ、本の世界に迷い込みたい気持ちに駆られるのです。



『松丸本舗主義』  
松岡正剛/著  
青幻舎